

2026年04月13日

課題名：ポリファーマシーへのアセスメント方法に関する研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、ポリファーマシー（多剤併用）について適切なアセスメント方法を調べています。本研究では、適切なアセスメントにより多くのスタッフが処方の適正化に寄与できることを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2024年7月から、2025年8月までの間に、薬剤適正使用推進チームによる介入をされた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

研究対象者背景

年齢、性別

入院／外来の別身長、体重

主な合併症・既往歴

使用薬剤

処方重複または相互作用が疑われる薬剤の有無

フロー内で問題点が抽出された項目

介入提案の有無

介入提案の内容

担当者の職種

臨床経験年数

処方変更の有無

薬剤数の変化

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年5月12日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

病棟薬剤室 研究責任者 仁熊 宏樹

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明